

一般質問

市民の生命を守る対策について 投票率向上のために期日前投票の改善を

伊花 明美 議員

子宮頸がんから女性の生命を守る対策について

質問 子宮頸がん予防の大切さを訴える啓発活動は、平成25年度以降なくなっている。からの予防接種の交付金は、どうしていくのか。

保健福祉部長 各種検診の受診希望調査や広報紙の掲載などでお知らせしています。

交付金については、国の動向を注視していきます。感染症から子どもと高齢者の生命を守る対策について

質問 5歳までにほぼ100%感染するロタウイルス胃腸炎。3万円ほど費用のかかる予防接種に公費助成を。高齢者肺炎球菌ワクチン助成の年齢・助成額拡大を。

公共サービス基本条例と 公契約条例について

篠田 徳壽 議員

質問 質の高い公共サービスを提供するには、実施主体の相互連携、情報の共有が大切である。相乗効果も生まれると思うが対応は。

市民部長 NPO団体等の情報交換やボランティア支援センターによる情報提供等を目的とした支援センター会議を開催しています。

質問 公共サービスの質と量は、市民の手の届くところで決定されるべき。公共サービス市民会議など、市民参加の対応は。

市民部長 協働の仕組み作りについて検討を進める中で、市民会議の設置が有効となるか今後検討したい。

質問 安全で良質な公共サービス

保健福祉部長 他の自治体の公費助成の状況を参考に、今後、研究・検討していきたいと考えています。

市民の生命を守る防災対策について

質問 群馬県地域防災計画が修正、災害時要援護者等への支援の充実が示された。まだ手つかずの災害時要援護者名簿。男女二丁の違いや要援護者の特性に応じた支援はどうなっているか。

総務部長 避難所の開設・運営に女性の意見を反映でき

きる組織づくりや二丁の違いに配慮した運営ができるよう防災計画を見直しします。防災備蓄品は、災害時要援護者等の特性に配慮した備蓄を進めます。

投票率向上のために期日前投票の改善を

質問 期日前投票の入場券に宣誓書をつけ郵送することを提案するが、どうか。

総務部長 入場券の変更によるコストと有権者の利便性を考慮して、入場券の変更について検討します。

ービスの継続的实施には、公契約条例による適正な労働環境の確保が必要と思う。現状の対応と考える。

総務部長 入札・契約における関係法令を遵守し、適正な執行を推進しながら、国や他の地方自治体の動向を継続して注視します。

市営住宅の対応について

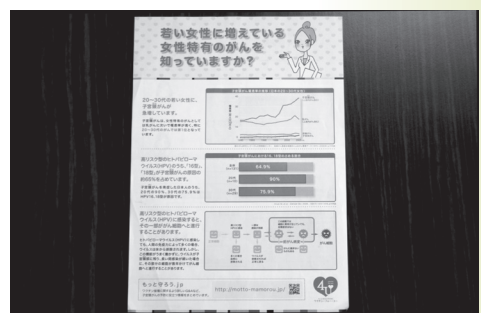
質問 定住促進住宅の入居基準の緩和など、入居希望者拡大の対応と借上賃貸住宅の空き室対策は。

建設部長 入居基準月額を

15万8000円から21万4000円に変更しました。オーナーの意見を集約し、入居基準等を協議します。小野池あじさい公園の駐車場について

質問 駐車場の設置は、安全確保や誘客に対して必要と思うが、今後の対応は。

建設部長 駐車場候補地上信道の一部区間となる渋川西バイパスのルートとなっている。この道路に一定の進捗が見られた段階で土地所有者と相談します。

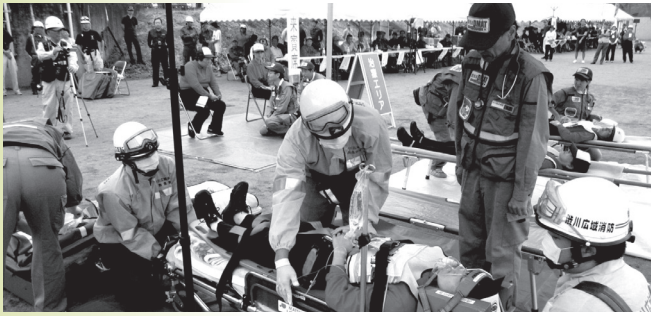


子宮頸がん啓発リーフレット

※ロタウイルス胃腸炎
ウイルス感染により強い下痢やおう吐を引き起こす小児の胃腸炎

※子宮頸がん
ウイルス感染により発症する子宮頸部のがん

一般質問



災害時のトリアージ訓練

市民にやさしい市政を

加藤 幸子 議員

質問 個人住宅や事業所等のマイクrohottスポットの除染について市の考えは。

市民部長 除染計画区域外は、放射線測定器を貸し出しますので借受者自身で除染していただきたい。

質問 市民への自助努力のみを求めている。中之条町は除染グッズと除染マニ

ユアルを配布。市の考えは。

市民部長 支援物資は、状況を見て検討します。除染マニュアルは、測定器の貸し出しの際に配布します。

質問 渋川市の周囲200キロ圏内に4つもの原発がある。ヨウ素剤の備蓄を。

市長 県でも国の状況を見て検討している。ヨウ素剤

の備蓄については、専門家と相談して検討したい。

質問 第三子の保育料の完全無料化で子育てするなら渋川でといえる取り組みを。

保健福祉部長 小学校4年生以上に条件を緩和するこ

とは、財政状況の厳しい中では、難しいと考えます。

質問 高齢者・障害者等ごみ出しができない人へのごみ出し支援と安否確認を。

市民部長 支援は、近所、自治会などの協力も考えられますが、市が実施する場

合には十分に研究します。

質問 学校給食調理場の熱源を3施設ともガス熱源に。

学校教育部長 各種法の制約を受けるほか、維持管理費も割高になること等を考慮し、1施設としたい。

質問 高渋バイパスによって行幸田商店街道がふさがれ死活問題だ。設計変更を。

建設部長 バイパスの建設によって地元の皆さまに不便をおかけすることのないよう、県や地元対策協議会等と十分調整します。

議会の議決を重く受け止めます

角田 喜和 議員

質問 伊香保地内に、産廃施設の計画があると聞いている。議会は「産業廃棄物最終処分場設置反対に関する決議」を上げている。この決議をどう受け止めるか。

市民部長 産業廃棄物最終処分場設置について、県から意見書を求められた場合には、議会で「産業廃棄物

最終処分場設置等反対に関する決議」がされている旨の意見を付けて回答します。

質問 一般会計の市民一人当たりの借金は36万8000円になる。将来の借り入れ計画と返済のピークは。

総務部長 今年度の元利償還金は約31億1000万円の見込みですが、総合計画の実施事業をベースに一定条件の基に試算すると、今後さらに増加することが予測され、そのピークは平成31年度前後と考えています。

質問 総合計画は後期基本計画に移ります。新たな事業を組むことによる既存事業等への影響はないのか。

企画部長 実施計画の進捗管理において、毎年度新規事業を含め、事業の優先度や緊急性、財政状況を踏ま

え一部事業の縮小や先送り等の調整をしています。

質問 渋川地域の救急患者の受け入れ体制、充足率が低い。西群馬病院ができることにより、その効果は図られるのか。救急患者のトリアージ体制は整うのか。

企画部長 新病院の整備により、北毛地域の中核的病院として救急機能の強化を図るとともに、地域医療連携体制が構築できるよう、市としても積極的に検討したいと考えています。



行幸田商店街道

※トリアージ

傷病者の緊急度に応じて治療や搬送の優先順位を決めること